



夜勤の虐待を予防せよ

施設の高齢者虐待、最多856件 前年度比15.8%増

12月22日に公表された厚生労働省の虐待調査結果。家庭内虐待は横這いだが施設での虐待件数は増えており、内3割超が特養であった。言うまでもなく虐待は人権侵害の最たるものであり、一発でアウト（指定取り消し）になりかねない深刻な事態である。

どうすれば虐待を予防できるか。その原因として下記囲みの要素が挙げられているが、教育不足だけで片付けられる問題ではないと思われる。施設内虐待の真相に迫り、その実践的予防策を本号で取り上げる。

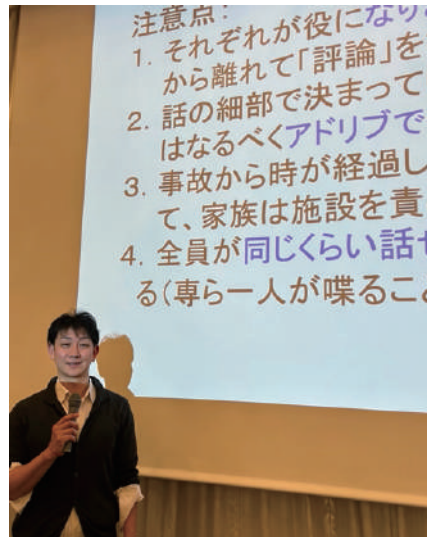
表7 虐待の発生要因（複数回答）

内容	件数	割合 (%)
教育・知識・介護技術等に関する問題	480件	56.1
職員のストレスや感情コントロールの問題	197件	23.0
虐待を助長する組織風土や職員間の関係の悪さ、管理体制等	193件	22.5
倫理観や理念の欠如	153件	17.9
人員不足や人員配置の問題及び関連する多忙さ	99件	11.6
虐待を行った職員の性格や資質の問題	85件	9.9
その他	30件	3.5

(注) 都道府県が直接把握した事例を含む856件に対するもの。

令和4年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果(資料2)より

- 一位が教育不足？
- 利用者・家族からのハラスメントは？
- 職員の資質の問題にしてしまっているの？



注意点：
 1. それぞれが役になり
 から離れて「評論」を
 2. 話の細部で決まっ
 はなるべくアドリブで
 3. 事故から時間が経過し
 て、家族は施設を責
 4. 全員が同じくらい話
 る(専ら一人が喋ること

12月20日、千葉県老人保健施設協会にて「謝罪訓練」セミナーをする外岡潤。

外岡新聞

1月号

弁護士法人おかげさま
 〒160-0023
 東京都新宿区西新宿
 8-9-14 ベイペリー
 202号
<http://okagesama.jp>
 TEL:03-6555-3437
 FAX:03-6730-6140



1月18日、午後6時から自主セミナー「運営指
 導対策セミナー」を開催します。ますます
 コンプライアンスのハードルが上がる来年度
 に備え、指導で足をすくわれないように
 チェックしておきましょう！



☆：外岡潤

○：特養の施設長

○：来年度からいよいよ全事業所につき虐待防止の取り組みが義務化されますね。これはやっていないと減算ですか。

☆：はい、福祉用具は3年間猶予されますがそれ以外は待たなしです。因みに、ショートと小多機について身体拘束適正化の取り組みも義務化されたので注意が必要です。

○：分かりました、うちは複合型でショートもあるため、ショートでも意識的に身体拘束の取り組みをやるようにします。ただ問題は現実に虐待が起きてしまうという実態です。

☆：今回発表された統計でも、施設内虐待件数が増えていますね。

○：恥ずかしながら先月も心理的虐待と言ってよい暴言をご利用者に吐いた職員がおり、嚴重注意にとどめましたが臍を曲げて辞められてしまいました。絶望的に人が足りない中で、指導する側としてもなかなか強く言えないところがあり、また虐待に関する教育も不十分です。先生のユーチューブ動画を活用しオンデマンドで受講させていますが、一体どうすれば虐待を予防できるのでしょうか。

☆：厚労省の統計によれば、教育や知識不足が一番の原因とされていますが、どう思いますか。

○：うーん、教育が足りないと言えばその通りなのですが、逆にどのような教育をすれば虐待を予防できるのでしょうか…

☆：そうですね。私もこの結論には懐疑的です。それこそ研修動画もありますから、現場職員が虐待について最低限の知識（虐待の種類と定義、通報義務）を身に付けることはそれほど難しいことでは無いと思います。主要な原因は二番目の「職員のストレス」であり、その背景に人員不足や利用者らによるハラスメント（いわゆるカスハラ）があるのではないのでしょうか。

○：現場の感覚からして、自分もそう思います。ニュースなどを見ると、最近利用者に対しかつとなり暴力を振るうケースが増えているように感じますね。

☆：そうですね、次のようなケースが典型的です。

外岡新聞

1月号

弁護士法人おかげさま
〒160-0023
東京都新宿区西新宿
8-9-14 ベイペリー
202号
http://okagesama.jp
TEL:03-6555-3437
FAX:03-6730-6140



1月18日、午後6時から自主セミナー「運営指
導対策セミナー」を開催します。ますます
コンプライアンスのハードルが上がる来年度
に備え、指導で足をすくわれないように
チェックしておきましょう！

外岡流 趣味の部屋



お肉に詳しくなろう

懂れの部位、シャトーブリアン。ファイル
(ヒレ) 肉の中でもさらに肉質の良い中心
部分(大腰筋)を指します。

これが実は人の名前だったって、ご存知
でしたか？「6世紀初頭のフランスの政治
家「フランソワールネ・ド・シャトーブリア
ン」(右写真)。料理人に命じて作らせ
たことから、このように呼ばれるようにな
ったとのこと。彼はそのおいしさに惚れ込
みシャトーブリアンばかり食べたそうです。
次の小ネタ、肉の「A5」ランクの「A」は、
どんな意味でしょうか？実はおいしさのラ
ンクではありません。

正解は「取れる肉の量」でした。Aは「脂
身が少なく、食べられる部分が多いもの」、
Cは「脂身が多く、食べられる部位が少な
いもの」となります。数字は肉質等級で、
霜降り度合いのことを指し、5になるにつ
れて高くなります。A5ランクの牛肉は「
生産性の高い牛から取れた、霜降り部分が
多い肉」ということとなります。

編集後記

明けましておめでとございませう。今年の年末年
始も、弊所は顧問先の皆様からのご相談に対応し
ておりますので遠慮なくご連絡頂ければと思いま
す▼めでたいお正月から深刻な話題で恐縮ですが
虐待事件は正に待ったなしの状況です。いつ自施
設が報道されるような大事件に巻き込まれないと
も限りません▼そうした事態を回避するためには
今夜も施設の安全を守ってくれている夜勤者の心
に寄り添う施策が必要です。一言でいえば「孤独
」になりませんが、これを癒すための方策を講じること
が、利用者の保護にも繋がることでしょう。

「夜中に何度も呼び出され腹が立った」入居者が顔にけが 奈良(令和5年12月1日)
奈良市の高齢者施設で、入居者の90代女性に暴行を加え、顔にけがをさせたとして
職員の男が傷害容疑で逮捕された。「夜中に何度も呼び出されて腹が立ち、思い切り鼻
をつねった」と供述している。

グループホーム管理者ら、入居者の顔たたき虐待 和歌山(令和5年9月27日)
職員らが入居者をたたき虐待をしたとして、和歌山市は市内のグループホームAの運営
法人に対し半年間の新たな入居者の受け入れ停止と介護報酬の3割減額の行政処分にする
と発表した。6月ごろ、50代の女性管理者が認知症の入居者の行動に腹を立て、ほお
を手でたたいた。また、7月ごろ60代男性介護職員も別の入居者の額を手でたたいた。
いずれも入居者にけがはなかった。職員は調査に対し、「利用者が言うことを聞かず疲
れていて、つい手が出てしまった」等と話している。

- : ご利用者からの要望に対応しきれず、爆発してしまうパターンですね。
- ☆: はい、こうした事件は特に夜間帯に多いのではないかと推測します。夜勤者は通常一人勤務であり、孤独を感じ精神的に不安定になりやすい中で複数のご利用者に対応しなければなりません。休憩も碌に取れず、連続勤務で疲れきっている人も多いのではないのでしょうか。
- : その通りです。夜勤者も手薄なのでどうしても一人当たりの負担が増えてしまいます。
- ☆: もう一つの問題は、周囲に止める人がないのでカットとなったとき歯止めが利かず、暴力沙汰に及んでしまいやすいという環境です。かといってコールを無視すればネグレクトと見做されてしまうためクールダウンすることもできません。
- : 本当ですね。それだけ追い詰められれば、いくら正しい知識や技術があっても歯止めにはなってくれませんね。
- ☆: そう思います。厚労省は毎年統計を出しますが、具体的にどのような虐待がいかなるシチュエーションで起きているかといった詳細な情報を開示しておらず、原因分析も単にヒアリング結果をまとめただけで突っ込んだ分析をしていません。ですが、施設においてもこのように状況別にみれば原因と対策は自ずから明らかになるものと考えます。
- : 夜勤の虐待を無くすには、どうすればよいのでしょうか。
- ☆: まず夜勤者にアンケートを取り、現場の課題を把握し解決に努めます。人を増やすことが難しくとも、休憩室を整備する、コールが特に頻回な利用者について対策を全員で協議するといった対応は可能でしょう。介護拒否が強かったり、昼夜逆転している利用者等は夜勤者もストレスを感じやすいため、夜眠れる工夫をカンファレンスで模索します。すぐには解決法が見いだせずとも、このように全員で取り組み夜勤者を一人にさせない意識が大切なのです。
- : なるほど、孤独を和らげる意識ですね。
- ☆: 夜勤者が思いとどまれるよう、夜間のコールセンターを設けるのも一案です。カットなりそうなとき、辛さを吐露し相談できる外部の相談室があるだけで、安心感が違うと思います。